

竹原管内景況調査

9月の景況DIは、製造業は横ばい、非製造業は悪化

当所では、地域商工業者の景況並びに経済動向等に関する情報の収集・分析を行っています。今号では、令和5年9月に実施しました調査結果がまとまりましたので、ご報告いたします。

調査概要

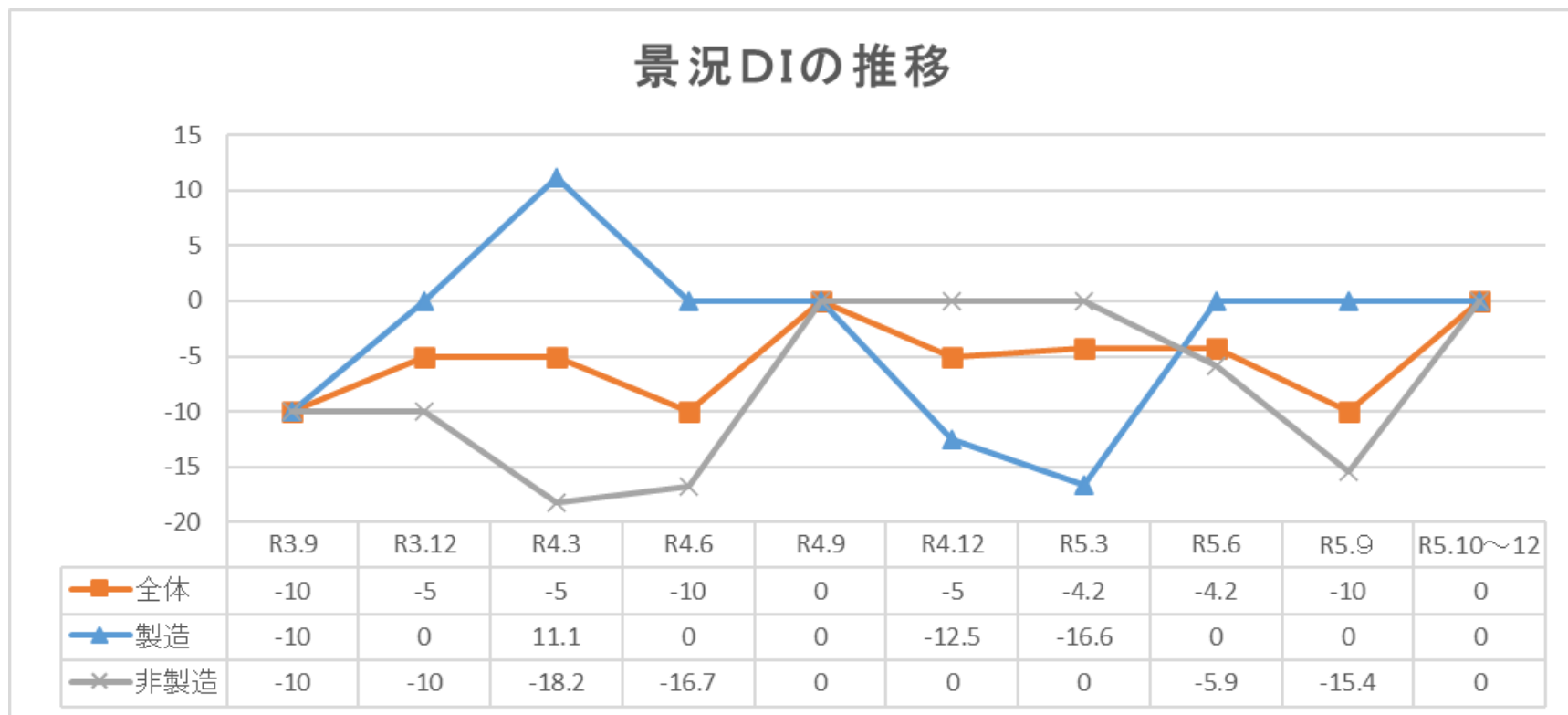
- 【調査時期】 四半期毎に調査(年4回実施)
- 【調査期間】 令和5年9月
- 【調査対象】 当所会員

回答状況

産業	対象事業所	回答数
製造	13	7
建設	5	3
小売	12	5
サービス	17	5
合計	47	20

●全産業におけるDI値

景況DIの推移



9月の景況DI数値は、前回調査と比べて製造業は横ばい、非製造業は9.5ポイント悪化しました。
9月と比べて10月~12月までの見通しは、全体では、10ポイント好転しています。



※DI(ディフュージョン・インデックス)は、各調査項目についての判断の状況を示します。

ゼロ基準として、プラス値は景気の上向き傾向(「良い」)をあらわす回答の割合が多いことを示し、マイナス値(▲)は景気の下向き傾向(「悪い」)をあらわす回答の割合が多いことを示します。

●景況が好転(悪化)した理由について

- 《製造業》
 - ・受注量の減少(ゴム製品)
 - ・生産量はこの1年は横ばい状態(精密機械)
 - ・各種商品の値上げが進み、消費者の節約志向が一段と強まり、厳しい環境ではあるが、昨年は、一昨年までの新型コロナ影響に伴う内食需要の反動減を受けていたこと、11月に2度目の価格改定と新たな需要喚起策を進めたこともあり、売上は回復傾向。(食品)
- 《非製造業》
 - ◇建設業
 - ・ある程度の手持ち工事があり、今後の官民の受注が見込まれる。(建築工事)
 - ◇小売業
 - ・競合環境の変化(スーパー)
 - ・子供の人口減少(写真)
 - ◇サービス業
 - ・外出の増加、旅行者の増加、料金の値上げ。(タクシー)

(※アンケート全体から一部抜粋しています。)